

第2回青森公立大学図書館ポップコンテスト応募要項

- 1 目的
本学学生への読書の推奨と図書館の利用促進を図るため、第2回図書館ポップコンテストを実施します。
- 2 応募資格
本学の学部生及び大学院生
- 3 対象図書
本学図書館で所蔵している図書（ジャンルや新旧刊は問いません。）
- 4 募集期間
2020年7月15日（水）から9月30日（水）まで
- 5 応募要領
 - ・自分がおすすめしたい本の特徴を手書きで紹介してください。（イラスト入りも可です。）
 - ・用紙サイズはA5（別添ポップ作成用紙）で作成してください。
 - ・熱で消えるペン（フリクション等）の使用は不可とします。
 - ・必ず、本の書名と著者名を明記してください。
 - ・著作権を侵害するおそれのない、オリジナルの作品に限ります。
 - ・応募作品数は1人5点までとします。
 - ・応募作品は返却しませんのでご了承ください。
 - ・受賞者は原則表彰式に出席いただき、その様子が大学公式HP等で公開されます。
- 6 提出先
応募用紙に必要事項を記入し、応募作品の裏に貼付のうえ、本学図書館カウンターに提出してください。
- 7 審査
本学の図書館運営委員会委員が審査します。
- 8 賞品

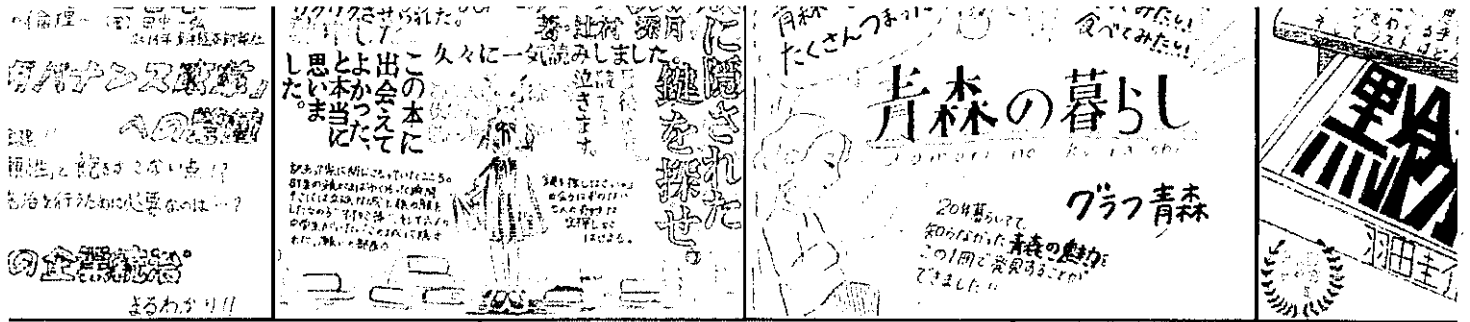
最優秀賞	図書カード 10,000円分	(1名)
優秀賞	図書カード 5,000円分	(2名)
佳作	図書カード 2,000円分	(5名)
- 9 結果発表
 - ・学内掲示やサイト等で10月下旬（予定）に発表します。
 - ・応募作品は図書館内の専用コーナーで図書と一緒に展示する予定です。
- 10 問合せ先
青森公立大学図書館 電話：017-764-1551 メールアドレス：lib@b.nebuta.ac.jp

■ 応募用紙

第2回青森公立大学図書館ポップコンテスト応募用紙	
学籍番号	
学 科	学科
学 年	年
氏 名	
連 絡 先	

■ ポップ作成用紙

↑ 点線に沿って切り取り、使用してください。



認知 **コ** **恋愛写真** **第2回**
青森公立大学図書館
ポップコンテスト

募集期間：2020年7月15日（水）～9月30日（水）

作品例) 第1回 最優秀賞作品『舟を編む』三浦しをん

舟を編む

三浦しをん

あなたもきっと、言葉の鬼味力に鬼味せられる



これは辞書(舟)を編集(編む)する人々の物語。
 辞書作りに情熱を注ぐ個性豊かな登場人物には果たして、辞書を完成させることはできるのか...?

2012年 **本屋大賞 第1位!!**

☆対象となる本は、本学図書館で所蔵している図書であれば、ジャンルや新旧刊は問いません。
 ☆詳細については、応募要項をご確認ください。
 たくさんの応募をお待ちしております!

受賞者には
 図書カードを贈呈します。
最優秀賞 1名 10,000円分
 優秀賞 2名 5,000円分
 佳作 5名 2,000円分

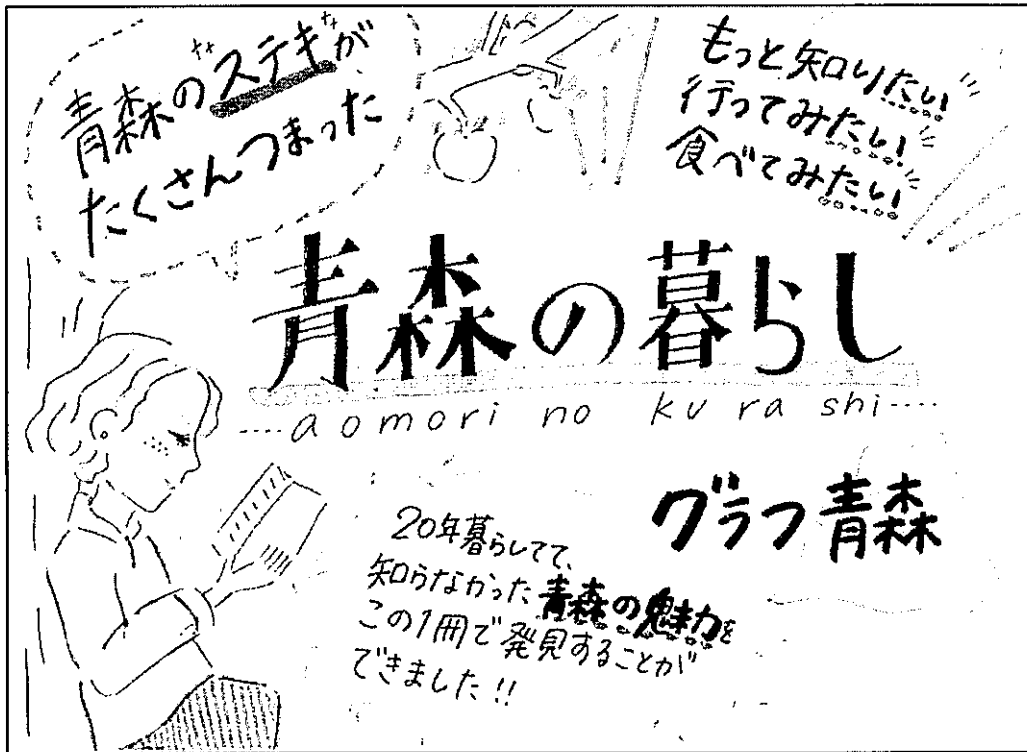
【問合せ先】青森公立大学図書館

電話：017-764-1551 メールアドレス：lib@b.nebuta.ac.jp

■受賞作品 (一部)

優秀賞 エントリーNo.9

グラフ青森 (青森の暮らし)



優秀賞 エントリーNo.17

黒冷水



取り組み前

入館者数
2018年度6月 5,708 人
2019年度6月 5,933 人

取り組み後

2020年度6月の入館者数
7,282人 (前年同月比+1,349) 過去3カ年で最多

入口の工夫

立寄りやすい雰囲気へ



ブラインドが年中下がっており中の様子がわからない。入館しにくい印象。



廊下側からの様子。閉ざされた印象。



窓ガラスの面積を最大限に利用(掲示もすべて無くした)し廊下側から館内の様子がわかる開放的な空間へ。



手書き看板は利用者とのコミュニケーションツールとしての役割を担っている。



廊下側から展示が見えるよう工夫した。※写真は学生が作成したおすすめ本POPが見えるようレイアウトしている。

館内の工夫

館内備品有効活用



ゲート以外の場所を通行不可とするため、プリンターラックで封鎖していた。またラックの有効な活用方法も検討の必要があった



「グループ閲覧室」の広い空間を活用し、来館者の増加につながる工夫を検討していた。



使用していなかったショーケースをプリンターラックのスペースへ。廊下側からも利用者に見えるよう設置している。館内ロビー展示スペースとなった。(現在は、2019年度POPコンテストの受賞作品を展示中)



【グループ閲覧室】のPCを 2⇒6台へプリンターを 1⇒2台へ 増設。学生の図書館内での研究や、調査に必要な検索を目的としたPCとして利用促進を図る。またグループ閲覧室は「学習導入演習」等の授業で要請があれば職員による利用ガイダンス等を実施している。



新着本・展示等館内の様子



新着図書棚に展示しきれない本は、ブックトラックを使わざるを得なかった



閉じ切ったブラインドは館内からも圧迫感がある。



プリンターラックを活用し、新着本をアピール。棚の素材を統一し、立ち寄りやすい雰囲気へ。

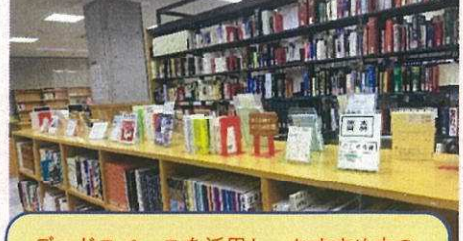


学生作成のおすすめ本ポップと、開けたブラインドから廊下が見える様子。解放感がアップし快適な空間へ。

円型の記帳台の運用を見直し、効果的に展示をPRするスペースへ生まれ変わった。



大型本専用棚の上がデッドスペースとなっており、活用を検討していた。



デッドスペースを活用し、おすすめ本の展示。学生や図書館職員の手作りPOPで興味を引く工夫をしている。



新たな試みとしてテーマに応じて様々な図書をPR。写真は『特徴ある装丁の本フェア』。展示方法の工夫や個性的な手作りのPOPを活用したイベントを開催する。